

# 英語科学習指導案

日 時 平成29年6月20日(火)

展開学級

展開場所

授業者

単元名 NEW CROWN 2 Lesson 3 The Ogasawara Islands

## 1 単元の目標

- (1) 自分の考えやこれからの行動を正しく書く。
- (2) 環境問題に関する意見文の内容を読み取る。
- (3) 自分の考えやこれからの行動について、間違うことを恐れず話したり書いたりする。
- (4) 未来を表す表現や接続詞 **that** を用いた文の構造を理解する。

### ・本単元の指導に当たっての考え方

本単元は、健や久美たちが、自分たちの住む緑市で開催される国際的な環境イベント「アース・フェスティバル」に参加している場面である。さらに小笠原諸島の自然環境についての意見文（講演資料）を読み取りながら意見文の文章の構成を理解し、自分たちの興味・関心のある環境問題について簡単な意見文を書くという流れになっている。本単元では、未来を表す表現として助動詞 **will** と **be going to** ~を扱い、これから先に起こりうることや、自分たちがこれから取ろうとする行動について表現できるようになることを目標としている。また、接続詞 **that** について学ぶことで、自分の意見や感想をより具体的に説明する力を養っていく。

本校の CAN-DO リストでは、2学年の「書くこと」において、「身近な話題について、全体の構造を考えながら、簡単な数文の英文を書くことができる。また感想を付け加えることができる」ことを目標としている。今回学習した環境問題に対して意見・感想を述べる文を書かせ、自分の意見・感想を表現する経験を積ませたい。

本年度、本校が千葉県環境学習事業のモデル校となっているので、本単元を生徒が環境問題へ関心を向ける1つのきっかけにしたい。

## 2 生徒の実態

## 3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①自分の考えやこれからの行動について、間違うことを恐れず話したり書いたりしている。	①自分の考えやこれからの行動を正しく書くことができる。	①環境問題に関する意見文の内容を読み取ることができる。	①未来を表す表現や接続詞 <b>that</b> を用いた文の構造を理解できる。

## 4 指導と評価の計画（13時間）

時間	○ねらい・学習活動	評価規準	評価方法
1	○ポスターに書かれている内容を読み取る。 ・教科書 P24 のポスターに記入されている情報を読み取る。	エの①	後日ペーパーテスト

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の音読練習（全体、個人、ペア等）をする。</li> </ul>		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未来を表す表現（助動詞 will）を理解し、使う。</li> <li>・オーラルイントロダクションで導入された助動詞 will を理解する。</li> <li>・アクティビティやペア活動を通して助動詞 will を用いた文を使う。</li> </ul>	エの①	後日ペーパーテスト
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未来を表す表現（be going to ~）を理解し、使う。</li> <li>・オーラルイントロダクションで導入された be going to ~を理解する。</li> <li>・アクティビティやペア活動を通して be going to ~を用いた文を使う。</li> </ul>	エの①	後日ペーパーテスト
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○このあとの予定についての会話の内容を理解し、音読する。</li> <li>・教科書の本文を聴き、概略を理解する。</li> <li>・本文の音読練習（全体、個人、ペア等）をする。</li> <li>・will と be going to ~の用法の違いを理解する。</li> </ul>	エの①	後日ペーパーテスト
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意見、感想を述べている会話の内容を理解し、音読する。</li> <li>・教科書の本文を聴き、概略を理解する。</li> <li>・本文の音読練習（全体、個人、ペア等）をする。</li> <li>・意見、感想、推測について述べるときに使う表現を確認する。</li> </ul>	エの①	後日ペーパーテスト
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○接続詞 that の用法を理解し、使う。</li> <li>・教科書 P35 の Review を活用し、接続詞の用法を理解する。</li> <li>・I think that を使って、自分の考えを述べる。</li> </ul>	エの①	後日ペーパーテスト
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小笠原諸島についての資料の概要を理解する。</li> <li>・オーラルイントロダクションを聴き、概略を理解する。</li> <li>・教科書の本文を聴き、教科書の <b>1st~2nd Reading</b> に答える。</li> <li>・全体の音読練習（全体、個人、ペア等）をする。</li> </ul>	ウの①	後日ペーパーテスト
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小笠原諸島についての資料の詳細を理解する。</li> <li>・教科書 P31 の <b>Check</b> に答える。</li> <li>・全体の音読練習（全体、個人、ペア等）をする。</li> <li>・小笠原諸島についての資料の内容をまとめる。</li> </ul>	ウの①	活動の様子 ワークシート
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小笠原諸島についての資料の内容を自分の言葉で説明する。</li> <li>・前時にまとめた内容を持ち合い、良いアイデアを共有する。</li> <li>・まとめた資料をもとに、教科書の内容を自分の言葉で説明する。</li> </ul>	アの①	発表の様子
10 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境問題に関するアンケートの回答を書く練習をする。</li> <li>・モデル文（教科書 P32）を聞き取り、作文の構成について理解する。</li> <li>・グループでマッピング活動をして、アイデアを広げる。</li> <li>・環境問題に関するアンケートの回答を書く。</li> </ul>	アの①	行動の観察 作文チェック
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境問題に関するアンケートの回答を書く。</li> <li>・友達の見文と良いアイデアを共有する。</li> <li>・自分の見文をより良いものに修正し、清書する。</li> </ul>	イの① アの①	作文チェック 活動の様子
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境問題に関するアンケートを読み合う。</li> <li>・グループでお互いの作文を読み合う。</li> <li>・他の生徒の作品を読みながら、ベスト作品賞を選ぶ。</li> </ul>	イの①	作文チェック
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Lesson 3 の単語、文法のまとめをする。（教科書 P34）</li> <li>・未来を表す表現を確認する。</li> <li>・接続詞 that の使い方を確認する。</li> </ul>	エの①	後日ペーパーテスト 小テスト

	・単語テスト、リスニングテストを行う。		
--	---------------------	--	--

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ① 間違えることを恐れずに、環境問題に関しての自分の考えを書くことができる。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

### (2) 本時の展開

学習過程	○学習内容・活動	指導上の留意点	評価
Greeting (1)	○英語で元気よく挨拶をする。	・元気よく挨拶をして、英語を学習する雰囲気を作る。	
Warm-Up (10)	○英語の歌を歌う。 ・“Love Yourself”を歌う。 ○Explanation Game をする。 ・人物や事物について英語で説明するゲームを4~5人グループで行う。 (例) 説明する語が July の場合 ・It's the month after June. ・It is the seventh month of the year.	・元気に声を出して、楽しく歌えるよう促す。 ・1人持ち時間1分でテンポよく行わせる。	
Oral Introduction (7)	○Lesson 3 で取り扱った環境問題について確認する。 T: Air pollution, global warming, endangered animals. There are some problems in the earth. In the Ogasawara Islands, people made some rules to protect the turtles. What can we do for the earth? So let's think about saving the earth.		
地球のためにできることを書いてみよう			
	○モデル文(教科書 P32) を聞き取る。 ・教師が読む教科書のモデル文を聞いて、自分たちがこれから書く内容について理解する。 ・実際に環境のためにやっていることについて説明する。 ・モデル文を Opening, Body, Closing に分けて、書くときの構成について確認する。	・絵や写真などを使って内容を推測しやすいようにする。 ・3R 活動を例に挙げて説明する。 ・下線を引かせたり、隣同士で確認させてりしながら確認するよう指示する。	
Writing Preparation (7)	○自分の考えを書く。 ・ワークシート(資料1) の1.と2.に回答する。	・3R 活動に当てはめながら、「地球のためにできること」を考えさせる。 ・回答は教科書 P32 のようにメモ程度で書いてもよいことを伝える。	

		・辞書を適宜活用するようアドバイスをする。	
Group Talk (10)	○情報を持ち寄って回答を書くのに必要なメモを作る。 ・隣の人と意見の交換をする。 ・グループで話し合いながら、マッピングを作る。	・グループ内で意見を出し合えるように、A3 のマッピング用紙を配付する。 ・辞書を適宜活用させながら、マッピングに書いたフレーズを命令文形式で英語にさせる。	目標 ① 【行動の観察】
Writing (13)	○アンケートの回答を英語で書く。 ・「地球のためにできること」を主語、動詞をつけてマッピングをもとに書けるだけ書く。 ・Opening と Closing につけるフレーズを考える。	・なるべく自分の知っている文法や英単語を使って書くよう促す。  ・早く書き終わった生徒は、他の生徒の手助けをするよう促す。	目標 ① 【作文チェック】
Greeting (2)	○次回の内容を伝える。  ○英語で挨拶をする。	・ワークシートを回収し、取組の状況を確認する。 ・次回は、お互いの作文を読み合い、よい表現を見つけたり、質問を記入したりする活動をすることを伝える。	

## 6 評価

アの① 間違ふことを恐れずに、環境問題に関しての自分の考えを書いている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

### (1) 評価方法

- ① 積極的にグループで話し合い、マッピング活動を行っているか観察する。
- ② 10 時間目および授業後に、アンケートの原稿を積極的に書いているかをチェックする。

### (2) ②において、「おおむね満足できる」状況 (B) と判断した具体例

I will buy LED goods.

I will turn off the light when I don't use it.

I will not use air conditioners too much.

I will not use cars, but I will use trains or buses.

⇒「地球のためにできること」についての英文を主語・動詞をつけて、教科書のモデル文と同様に3~4文書いているので、「おおむね満足できる」状況 (B) と判断した。

(資料1)

# Earth Festival Questionnaire

Class ( ) No. ( ) Name ( )

<Step 1>

1. What are you doing for the earth?

Reduce :
Reuse :
Recycle :

2. What can we do for the earth?

(例) ・マイバッグ ・袋使わない ・詰め替え用買う	(ex) ・ use / my own bag ・ not use / shopping bag ・ buy / refill
-------------------------------------	--

～Vocabularies～

・ save : ～を節約する	・ air conditioner : エアコン	・ used paper : 古紙
・ garbage/trush : ごみ	・ plastic bottle : ペットボトル	・ electricity : 電気
・ turn off : (スイッチを) 切る、(水を止める)	・ use less ○○ : ○○の使用を減らす	
・ temperature : 温度	・ too much : 必要以上に	

<Step 2>

★ あなたが「地球のためにできること」を、書けるだけを書いてみてください。

(Opening)


(Closing)

<Step 3>

★ 自分が書いた「地球のためにできること」に、Opening と Closing の文章を付け加えてアンケートの回答を完成させよう。

